

# 都市再生整備計画(第1回変更)

かつうら  
勝浦地区

ちば かつうらし  
千葉県 勝浦市

平成23年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	勝浦市	地区名	勝浦地区	面積	186 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

### 目標

- 大目標：魅力ある観光と活力あるまちづくりを目指す  
 目標1：地域交流と観光交流を目指した拠点を整備し、交流活動の活性化を図る。  
 目標2：地域住民や観光客が安心・安全に行き交うことのできる市街地環境を整備し、交流活動の促進を図る。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

・勝浦市総合計画では、「ほんとうの意味での勝浦の豊かさのまちづくり」「日々の暮らしが文化になるようなまちづくり」をまちづくりの基本理念として掲げ、産業が発展する仕組みづくりとして「魅力ある観光の振興」を目指し、また、歴史や文化を学び育てる環境づくりとして「地域固有の文化を育て地域固有の環境を守る生涯学習体制の推進」といった施策を掲げている。

・本地区中心部に位置する勝浦市民会館は、昭和41年に建設されて以来、市民の交流拠点として様々な活動が行われている。

・本市では市のPRをはじめ、商店や飲食店の活性化を目的として、本地区を中心に年間を通じて多くのイベントを勝浦市観光協会や勝浦市商工会などの民間団体と協力して開催し、特に、平成13年から始まった「かつらビッグひな祭り」は、市民参加等が進められ、メイン会場である勝浦市民会館や遠見岬神社の石段60段にひな人形を飾り、まちづくりの気運が盛り上がっているところである。しかし、イベント会場である本地区の中心部には観光客に向けた情報案内板等がなく、イベントに訪れた観光客からは「街なか歩きづらい」との声もあり、近年のイベント来客数は減少傾向にある。

・多くの観光資源を活用した観光によるまちづくりを進めてきたところもあり、400年以上続いている勝浦朝市の来客数は増加傾向にある。

・地区南部には、首都圏自然歩道「関東ふれあいの道」の一つに指定されている道路があるが、その路面状態が悪い箇所もあるため歩行者にとって歩きづらくなっている。また、この歩道は勝浦の海を眺望できるが、その景観を損なっていると感じられる。

・本地区の中心部は、多くの商店や飲食店がある勝浦市の中でも中心的な市街地であり、地域住民の生活道路も多数あり、車両や歩行者の通行量が多い地区である。

#### 課題

・本市では、観光振興が重要な取り組みテーマの一つであり、より一層、観光振興を進めるためにはその核となる施設の整備や老朽化への対策といった整備水準の向上が大きな課題である。また、市民が集い、活動する市街地としていくためには、その活動拠点や市街地の一層の充実が重要と考えている。

・「かつらビッグひな祭り」のメイン会場である勝浦市民会館は、その施設のバリアフリー化が不十分であり、高齢者等の観光客の満足度を十分得られていないと感じていることから、施設のバリアフリー化は必要である。

・勝浦市民会館は昭和41年に建設され、建物自体の耐震化が進んでいないことや冷暖房設備等が十分でないことから施設利用者のニーズに合わなくなっており、また、老朽化も著しく壁や柱に亀裂が入るなど安全面の問題が顕著に表れてきていることから、市民・市議会議員を交えた(仮称)市民文化会館建設等審議会でもその建替えについて言及しており、当施設の建替えは必要である。

・また、勝浦市民会館に併設する中央公民館も勝浦市民会館と同様に、耐震化や安全面等の問題から、今後も安心・安全に利用できるよう、生涯学習をはじめとする地域交流の場を地域住民に提供することが必要である。

・地区中心部で開催している勝浦朝市の来客数はテレビなどの各種マスコミによる影響もあり増加傾向にあるものの、かつらビッグひな祭り等のイベント来客数は減少傾向にあることから、勝浦朝市を中心とした魅力ある高質空間を整備することによってリピーターによる集客が望めるような取組みを行い、観光客減少の歯止めをかけることが必要である。

・地区南部の首都圏自然歩道「関東ふれあいの道」の一つに指定されている道路は、地域住民あるいは観光客が利用することから、安心して通行できる、あるいは景観上の観点から舗装修繕をする必要がある。

・本地区の周辺道路は住民の生活道路でもあり、車両や歩行者が安心して通行できるように道路等を整備することが必要である。

#### 将来ビジョン(中長期)

・本地区は、市役所などの公共施設、銀行や商業店舗等の施設が集積している。本市の総合計画では、朝市の活性化や既存の観光資源の活用や各種イベントの開催などにより年間を通しての観光客の誘致に努めるとともに、その受け入れ体制を強化し、観光地周辺の道路等の整備による基盤の整備や観光ボランティア等の育成を行いながら、市民の観光意識の高揚を図り、魅力ある観光地づくりを目指している。  
 ・青少年を取り巻く環境は少子化や核家族化等の様々な問題を抱え、また、高齢化が進んでいる中、地域住民が多様な交流活動を促進できるような環境整備やイベント、交流機会を充実させることによって、青少年健全育成や生きがいづくりによる活力あるまちづくりを推進する。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
観光入込客数	人/年	本地区の年間観光入込客数	観光客満足度の影響を図る。	807,500人	平成20年度	807,500人	平成26年度
地域交流のための活動状況	人/年	生涯学習活動など地域交流を目的とした施設の利用者数	(仮称)市民文化会館の施設を利用した地域住民等の交流を促進する。	122,792人	平成20年度	157,174人	平成26年度
道路環境の満足度	%	道路の歩行環境に満足している者の割合	道路整備や案内板設置により、観光客・地域住民の利用満足度を図る。	47.3%	平成21年度	74.2%	平成26年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 地域の魅力を高め、交流人口を拡大するために交流拠点を形成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の交流を促進させる施設を整備する。</li> <li>・観光客の訪問を促進させる施設を整備する。</li> <li>・地域の魅力を高めるため地域住民とまちづくりワークショップを開催する。</li> </ul>	<p>(仮称)市民文化会館建設事業(基幹事業/高次都市施設, 市) 市民会館・中央公民館解体事業(提案事業/地域創造支援事業, 市) 新地ヶ台郭内線(基幹事業/道路, 市) 部原川津勝浦線(基幹事業/道路, 市) 官軍塚沢倉線(基幹事業/道路, 市) 仲本町2号線(基幹事業/道路, 市) 観光案内板等設置事業(基幹事業/地域生活基盤施設, 市) 勝浦朝市整備事業(基幹事業/高質空間形成施設, 市) (仮称)植村記念公園休憩施設整備事業(提案事業/地域創造支援事業, 市) 朝市サミット開催事業(提案事業/地域創造支援事業, 市) まちづくりワークショップ等開催事業(提案事業/まちづくり活動推進事業, 市) (仮称)地域力創造アドバイザー事業(関連事業, 市)</p>
<p>整備方針2 地域住民や観光客の活動促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や観光客が安心・安全に歩行できるように道路等を整備する。</li> </ul>	<p>新地ヶ台郭内線(基幹事業/道路, 市) 部原川津勝浦線(基幹事業/道路, 市) 官軍塚沢倉線(基幹事業/道路, 市) 仲本町2号線(基幹事業/道路, 市) 加ヶノ下小家名線(基幹事業/道路, 市) 東仲通線(基幹事業/道路, 市) 勝浦朝市整備事業(基幹事業/高質空間形成施設, 市) 観光案内板等設置事業(基幹事業/地域生活基盤施設, 市)</p>
<p>・</p>	
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業終了後の継続的なまちづくり活動 地域生活基盤施設として整備するサイン及び情報板に掲げるイベント情報等の定期的な更新などの運用は、地域商店主等の組織からなる勝浦中央商店会が行うことで同意を得ており、住民参加等による継続的なまちづくり活動が期待できる。</li> <li>○交付期間中の計画の管理について 交付期間中において計画した事業を円滑に進めるため、庁内関係各課と連携して定期的に事業の進捗管理を推進する。</li> </ul>	



# 都市再生整備計画の区域

カツウラ 勝浦地区(千葉県勝浦市)	面積	186 ha	区域	勝浦市勝浦・浜勝浦の全部及び出水・墨名・川津・沢倉・新官の一部
----------------------	----	--------	----	---------------------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

